十和田市議会の概要

令和 8 年度版

（令和８年４月１日現在）

十和田市議会

目　次

１．市の概要

⑴　沿革　・・・

⒀　議員全員で構成する議員連盟について　・・・・・・・・・・・・・・・　１１
　①　森林・林業・林産業活性化促進十和田市議会議員連盟
　②　高速交通網整備促進十和田市議会議員連盟
⒁　議会改革特別委員会の取組　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
⒂　議会報告会（市議会・市民との意見交換会）　・・・・・・・・・・・・・　１１
⒃　主権者教育「とわだ子ども議会」　・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１

1. 市 の 概 要

(1)沿　革



十和田市は、青森県南東の内陸部にある自治体です。平成17年１月に旧十和田市と旧十和田湖町との新設合併により誕生しました。行政・産業・教育・文化における青森県上北地方の中心的な都市として発展してきました。

市の西部には、十和田湖、奥入瀬渓流、八甲田山系など、四季の変化に富んだ美しい自然があります。この地域は十和田八幡平国立公園に指定され、また十和田湖と奥入瀬渓流は国の特別名勝及び天然記念物に指定されています。十和田湖は全国的な知名度を誇ることから、市名の由来となっています。

市の東部には、奥入瀬川や稲生川などが潤す田園地帯や、碁盤の目状に広がる中心市街地があります。この地域のまちづくりは、幕末の安政年間に、新渡戸傳（にとべつとう）が子の十次郎とともに三本木原の開拓に着手したことに始まります。明治期には陸軍軍馬局出張所（後に軍馬補充部三本木支部と改称）が開設され、馬産地として知られるようになっていきました。昭和期に入ると、三本木原開拓事業は国営開墾事業として継承され、三本木原台地は県内屈指の穀倉地帯として発展を遂げました。戦後、軍馬補充部が解体されると、その跡地を基盤として新たな都市計画づくりが進められました。近年は新しいまちづくりの一環として、市は、官庁街通りという屋外空間をひとつの美術館に見立てた「Arts Towada」計画を実施し、十和田市現代美術館やアート広場等を整備しました。

現在、当市は

～わたしたちが創る～
希望と活力あふれる　十和田

を将来都市像として掲げ、その実現に向け、次の基本理念のもとに、まちづくりを進めております。

- ◆ **市民一人ひとりが主役のまちづくり**
- ◇ **十和田らしさを大切に守り活かすまちづくり**
- ◆ **地域を育て地域と地域が連携したまちづくり**

⑵ 市　勢　概　要

市制施行年月日		平成 17 年 1 月 1 日	
面積		725.65 ㎢	
人口・世帯数 令和8年3月31日現在	総人口	56,248 人	（対前年度比 ▲750人）
	男女別人口	男 26,938 人	女 29310 人
	世帯数	28,142 世帯	
市の木・花（平成19年11月30日制定）		市の木「もみじ」	市の花「さくら」
15歳以上 産業別就業人口 令和2年国勢調査	第1次産業	3,422 人	11.6 %
	第2次産業	6,518 人	22.1 %
	第3次産業	18,681 人	63.5 %
	分類不能	820 人	2.8 %
	総数	29,441 人	100.0 %

⑶ 職　員　数

（令和8年4月1日現在）

区分		条例定数	現員
市長の事務部局の職員		359	331
議会の事務局の職員		10	6
監査委員の事務局の職員		4	3
選挙管理委員会の事務局の職員		12	2
農業委員会の事務局の職員		12	9
教育委員会の職員		95	48
消防職員		137	136
企業職員	水道事業	30	18
	下水道事業	20	11
	病院事業	420	410
計		1,099	974

十和田地域広域事務組合	※十和田市からの派遣職員（市長の事務部局の職員数に含まれる）	8
青森県後期高齢者医療広域連合		1
計		9

⑷ 令和8年度各会計当初予算

（単位：千円、％）

区　　分	令和8年度	令和7年度	比　　較		備　　考
	当初予算(A)	当初予算(B)	増減(A)-(B)=(C)	増減率C/B*100	一般会計繰入金
一 般 会 計	36,650,000	39,410,000	△ 2,760,000	△ 7.0	
特 別 会 計	15,195,698	14,969,019	226,679	1.5	2,143,450
国民健康保険事業	5,809,585	5,961,994	△ 152,409	△ 2.6	520,216
後期高齢者医療	1,096,776	919,387	177,389	19.3	315,815
介護保険事業	8,203,602	8,028,134	175,468	2.2	1,242,473
温泉事業	85,735	59,504	26,231	44.1	64,946
企 業 会 計	19,240,313	20,287,729	△ 1,047,416	△ 5.2	3,052,255
水道事業	2,832,097	3,879,177	△ 1,047,080	△ 27.0	202,689
下水道事業	4,573,266	4,916,426	△ 343,160	△ 7.0	1,193,300
病院事業	11,834,950	11,492,126	342,824	3.0	1,656,266
合　　計	71,086,011	74,666,748	△ 3,580,737	△ 4.8	5,195,705

※ 企業会計については、収益的支出と資本的支出の合計額

⑸ 令和8年度一般会計当初予算の分析

歳　入

（単位：千円、％）

区　　分	令和8年度当初予算額		令和7年度当初予算額		比　　較	
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比	増減(A)-(B)	増減率
自 主 財 源	12,162,451	33.2	13,089,216	33.2	△ 926,765	△ 7.1
市　　税	7,738,514	21.1	7,491,197	19.0	247,317	3.3
分担金及び負担金	22,918	0.1	78,792	0.2	△ 55,874	△ 70.9
使用料及び手数料	227,778	0.6	217,419	0.6	10,359	4.8
財 産 収 入	84,384	0.2	58,542	0.2	25,842	44.1
寄　附　金	303,000	0.8	170,800	0.4	132,200	77.4
繰　入　金	3,411,795	9.3	4,337,325	11.0	△ 925,530	△ 21.3
繰　越　金	50,000	0.2	50,000	0.1	0	0.0
諸　収　入	324,062	0.9	685,141	1.7	△ 361,079	△ 52.7
依 存 財 源	24,487,549	66.8	26,320,784	66.8	△ 1,833,235	△ 7.0
地方譲与税	389,210	1.1	397,480	1.0	△ 8,270	△ 2.1
利子割交付金	12,000	0.0	6,000	0.0	6,000	100.0
配当割交付金	28,000	0.1	21,000	0.1	7,000	33.3
株式等譲渡所得割交付金	30,000	0.1	27,000	0.1	3,000	11.1
法人事業税交付金	116,000	0.3	107,000	0.3	9,000	8.4
地方消費税交付金	1,787,000	4.9	1,585,000	4.0	202,000	12.7
ゴルフ場利用税交付金	9,000	0.0	9,000	0.0	0	0.0
環境性能割交付金（自動車取得税交付金）	1	0.0	37,000	0.1	△ 36,999	△ 100.0
地方特例交付金	92,000	0.2	38,000	0.1	54,000	142.1
地方交付税	10,560,000	28.8	10,230,000	26.0	330,000	3.2
交通安全対策特別交付金	8,000	0.0	8,000	0.0	0	0.0
国庫支出金	6,177,896	16.9	6,594,611	16.7	△ 416,715	△ 6.3
県 支 出 金	3,942,642	10.8	4,016,693	10.2	△ 74,051	△ 1.8
市　　債	1,335,800	3.6	3,244,000	8.2	△ 1,908,200	△ 58.8
歳 入 合 計	36,650,000	100.0	39,410,000	100.0	△ 2,760,000	△ 7.0

歳　出 ～ 目的別

（単位：千円、％）

区　分		令和8年度当初予算額		令和7年度当初予算額		比　較	
		金額(A)	構成比	金額(B)	構成比	増減(A)-(B)	増減率
1	議　会　費	236,179	0.6	238,018	0.6	△ 1,839	△ 0.8
2	総　務　費	4,635,040	12.6	3,859,813	9.8	775,227	20.1
3	民　生　費	13,219,758	36.2	13,338,205	33.9	△ 118,447	△ 0.9
4	衛　生　費	4,017,582	11.0	3,741,533	9.5	276,049	7.4
5	労　働　費	38,194	0.1	40,599	0.1	△ 2,405	△ 5.9
6	農林水産業費	1,260,879	3.4	1,291,904	3.3	△ 31,025	△ 2.4
7	商　工　費	1,213,344	3.3	1,573,585	4.0	△ 360,241	△ 22.9
8	土　木　費	3,257,177	8.9	3,551,865	9.0	△ 294,688	△ 8.3
9	消　防　費	1,833,540	5.0	1,811,813	4.6	21,727	1.2
10	教　育　費	3,909,920	10.7	6,819,244	17.3	△ 2,909,324	△ 42.7
11	災害復旧費	7,798	0.0	7,754	0.0	44	0.6
12	公　債　費	2,970,589	8.1	3,085,667	7.8	△ 115,078	△ 3.7
13	予　備　費	50,000	0.1	50,000	0.1	0	0.0
目的別　歳　出　合　計		36,650,000	100.0	39,410,000	100.0	△ 2,760,000	△ 7.0

歳　出 ～ 性質別

（単位：千円、％）

区　分		令和8年度当初予算額		令和7年度当初予算額		比　較	
		金額(A)	構成比	金額(B)	構成比	増減(A)-(B)	増減率
義　務　的　経　費		16,637,408	45.4	16,478,072	41.8	159,336	1.0
人　件　費		4,089,407	11.2	3,938,570	10.0	150,837	3.8
公　債　費		2,970,589	8.1	3,085,667	7.8	△ 115,078	△ 3.7
扶　助　費		9,577,412	26.1	9,453,835	24.0	123,577	1.3
投　資　的　経　費		2,375,694	6.5	5,581,603	14.2	△ 3,205,909	△ 57.4
普通建設事業費		2,367,896	6.5	5,573,849	14.2	△ 3,205,953	△ 57.5
	補　助　事　業	602,998	1.7	1,589,120	4.1	△ 986,122	△ 62.1
	単　独　事　業	1,720,052	4.7	3,943,196	10.0	△ 2,223,144	△ 56.4
	国・県営事業負担金	44,846	0.1	41,533	0.1	3,313	8.0
災害復旧事業費		7,798	0.0	7,754	0.0	44	0.6
そ　の　他		17,636,898	48.1	17,350,325	44.0	286,573	1.7
物　件　費		5,116,130	14.0	5,120,856	13.0	△ 4,726	△ 0.1
補助費等		7,540,151	20.6	7,555,319	19.2	△ 15,168	△ 0.2
繰　出　金		2,804,583	7.6	2,733,847	6.9	70,736	2.6
そ　の　他		2,176,034	5.9	1,940,303	4.9	235,731	12.1
性質別　歳　出　合　計		36,650,000	100.0	39,410,000	100.0	△ 2,760,000	△ 7.0

2. 議 会 の 概 要

(1) 議 員 名 簿（令和8年4月1日現在）

議　　長　　石　　橋　　義　　雄　　（令和5年1月12日就任）
副 議 長　　山　　端　　博　　（令和7年2月25日就任）
任　　期　：　令和5年1月1日～令和8年12月31日
議員定数　：　条例定数　22人　・　現員数　20人

議席番号	氏　　名	年齢	所属会派	党派	当選回数
1	山 端　美樹子	49	自民公明クラブ	自由民主党	1
2	小山田　剛 士	49	黎明親和会	無所属	1
3	太 田　正 幸	51	立憲農民クラブ	立憲民主党	1
4	竹 島　直 樹	59	柊の会	無所属	1
5	笹 渕　峰 尚	49	黎明親和会	無所属	2
6	山 田　洋 子	51	柊の会	無所属	2
7	今 泉　信 明	64	立憲農民クラブ	無所属	2
8	中 嶋　秀 一	68	自民公明クラブ	公明党	2
9	中 尾　利 香	68	自民公明クラブ	自由民主党	2
10	小笠原　良 子	76	日本共産党	日本共産党	2
11	山 端　　博	39	黎明親和会	無所属	3
12	氣 田　量 子	61	自民公明クラブ	公明党	3
13	斉 藤　重 美	69	自民公明クラブ	自由民主党	3
14	久 慈　年 和	74	立憲農民クラブ	立憲民主党	3
15	江 渡　信 貴	62	自民公明クラブ	自由民主党	4
16	堰野端　展 雄	57	黎明親和会	自由民主党	6
17	工 藤　正 廣	76	柊の会	無所属	7
18	小 川　洋 平	76	自民公明クラブ	自由民主党	8
19	戸 来　　伝	75	柊の会	無所属	12
20	石 橋　義 雄	75	自民公明クラブ	自由民主党	8

(2) 当選回数別議（令和8年4月1日現在）

1回	2回	3回	4回	6回	7回	8回	9回	12回
4人	6人	4人	1人	1人	1人	2人	0人	1人

(3) 年齢別議員（令和8年4月1日現在）

20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	平均年齢
0人	1人	3人	4人	6人	6人	0人	62.4歳

（最年少39歳・最年長76歳）

⑷ 報 酬 そ の 他

① 報酬・給与

議　　長	月額	460,000円	市　　長	月額	880,000円
副 議 長	月額	400,000円	副 市 長	月額	715,000円
議　　員	月額	370,000円	教 育 長	月額	645,000円

② 期 末 手 当

6月　　基 準 額 × $\frac{175}{100}$

12月　　基 準 額 × $\frac{175}{100}$

（基準額は報酬月額 × 1.2）

③ 調査視察旅費等

- 常任委員会調査視察　　1人当り年額　　200,000円
- 議会運営委員会視察　　1人当り年額　　100,000円
- 特別委員会視察　　1人当り年額　　100,000円
- 政務活動費　　会派に　1人当り月額　　30,000円

⑸ 常任委員会の視察に市職員が同行

市の派遣依頼に基づき、各常任委員会の行政視察に市職員が1名同行し、資質の向上に努めている。

◇ 対象 ・・・ 今後の市の行政運営を担う、主事・主査等の若手職員

◇ 予算 ・・・ 派遣する職員の旅費は市が負担

⑹ 議会の運営について

① 議会運営委員会の開催

告示後、速やかに開催

② 欠席届の方法

当日の開議時刻までに届出

③ 会議時間

午前10時から午後5時まで

④ 定例会の会期、議事日程

会期　　17～25日間

日　　程	第 1 日	議案上程、提案理由説明
	第 2 日	一般質問
	第 3 日	一般質問
	第 4 日	一般質問
	第 5 日	委員長報告、表決

⑤ 一般質問

発言の取り扱い

発 言 順 位	通告書受付順
制 限 時 間	質問、答弁を含めて1時間以内
通告の内容	要旨
通告の期限	招集日前日の午後4時まで

一般質問者数

定例会	令和7年	令和6年	令和5年	令和4年
第1回定例会	15人	17人	16人	14人
第2回定例会	13人	15人	14人	14人
第3回定例会	14人	14人	15人	16人
第4回定例会	15人	13人	14人	12人

⑥ 請願、陳情の取り扱い

請　　願	会期日程を諮る議運2日前までに受けたものは、本会議の初日に上程、その後から本会議最終日の日程を諮る議運2日前までに受けたものは、本会議の最終日に上程
陳　　情	陳情書の写しを全議員に配布し、紹介議員があるときは、請願なみに取り扱う また、陳情書に類するもので議長が必要と認めるものは、議運に写しを配布
審査期間	特になし

⑦ 予算・決算審査の方法

予　　算	議員全員で構成する特別委員会を設置のうえ審査
決　　算	議員全員で構成する特別委員会を設置のうえ審査
第 1 回 定 例 会 …… 各会計予算 第 3 回 定 例 会 …… 各会計決算	

⑺ 定期刊行物

① 十和田市議会だより

創　　刊	平成 17 年 3 月 15 日
発 行 日	2月 ・ 5月 ・ 8月 ・ 11月
発行部数	1回あたり 27,600部
印刷形式	A4判 ・1回平均12ページ
配 布 先	市全世帯及び交歓都市

② 十和田市議会会議録

種　　類	各定例会、臨時会の会議録
発行回数	年 4 回(次回定例会までに発行、他に臨時会分)
発行部数	1回当たり15部(A4判)
配 布 先	議会図書室・理事者・市民図書館

⑻ インターネット環境

(二次元コードをスマートフォン等で読み取ることで、該当ページへの接続ができます。)

① 市議会ホームページ

運用開始	平成17年3月
掲載内容	議員・会派名簿、本会議関係(会期日程・一般質問一覧表)、議会だより、手続き関係(請願・陳情、傍聴)、議長交際費、政務活動費収支報告書、行政視察の案内など

② 会議録検索システム

運用開始	平成24年9月
掲載内容	平成17年第1回臨時会以降の定例会・臨時会の会議録 ※閉会後、概ね3か月以内に更新

③ 本会議インターネット中継

運用開始	平成24年9月　試験放送を開始(第3回定例会一般質問から) 平成25年6月　本格運用を開始	
放映方法	生放送	本会議当日
	録画配信	会議終了後から一定期間
アクセス手順	十和田市ホームページ ⇒ 十和田市議会 ⇒ 議会中継	

⑼ 常任委員会、議会運営委員会、特別委員会名簿

① 常任委員会

◎ 委員長　○ 副委員長

区　分	正・副委員長	委　員
総務文教	◎ 江渡信貴 ○ 笹渕峰尚	山端美樹子・竹島直樹 小笠原良子・久慈年和 工藤正廣
観光建設	◎ 今泉信明 ○ 中嶋秀一	小山田剛士・中尾利香 山端博・斉藤重美 戸来伝
民生福祉	◎ 山田洋子 ○ 太田正幸	氣田量子・堰野端展雄 小川洋平

② 議会運営委員会

◎ 委員長　○ 副委員長

区　分	正・副委員長	委　員
議会運営委員会	◎ 堰野端展雄 ○ 斉藤重美	中嶋秀一・中尾利香 氣田量子・久慈年和 江渡信貴・工藤正廣

③ 特別委員会

◎ 委員長　○ 副委員長

区　分	正・副委員長	委　員
議会改革特別委員会	◎ 中嶋秀一 ○ 堰野端展雄	山端美樹子・太田正幸 山田洋子・中尾利香 江渡信貴
病院経営改革特別委員会	◎ 氣田量子 ○ 笹渕峰尚	山端美樹子・小山田剛士 太田正幸・竹島直樹 山田洋子・今泉信明

⑽ 内規による委員会名簿

◎ 委員長　○ 副委員長

区　分	正・副委員長	委　員
議会だより編集委員会	◎ 中尾利香 ○ 竹島直樹	山端美樹子・太田正幸 笹渕峰尚・山端博 斉藤重美・江渡信貴

⑾ 一部事務組合議会議員名簿

◎ 議長

区　分	派　遣　議　員
十和田地域広域事務組合	◎ 小川　洋平・太田　正幸 笹渕　峰尚・氣田　量子 江渡　信貴・工藤　正廣 戸来　伝
上北地方教育･福祉事務組合	中尾　利香

⑿ 歴代議会議長及び副議長

①　議　長

代別	氏　名	就任年月日	退任年月日
初代	豊川　泰市	平成17年1月12日	平成18年12月31日
二代	沢目　正俊	平成19年1月12日	平成22年12月31日
三代	小川　洋平	平成23年1月12日	平成26年12月31日
四代	工藤　正廣	平成27年1月13日	平成30年12月31日
五代	竹島　勝昭	平成31年1月11日	令和2年2月26日
六代	畑山　親弘	令和2年2月26日	令和4年12月31日
七代	石橋　義雄	令和5年1月12日	―

②　副　議　長

代別	氏　名	就任年月日	退任年月日
初代	赤石　継美	平成17年1月12日	平成18年12月31日
二代	桜田　博幸	平成19年1月12日	平成22年12月31日
三代	東　秀夫	平成23年1月12日	平成26年10月31日
四代	野月　一正	平成26年11月7日	平成26年12月31日
五代	田中　重光	平成27年1月13日	平成30年12月31日
六代	野月　一博	平成31年1月11日	令和4年12月31日
七代	櫻田　百合子	令和5年1月12日	令和7年1月12日
八代	山端　博	令和7年2月25日	―

⑬ 議員全員で構成する議員連盟について

① 森林・林業・林産業活性化促進十和田市議会議員連盟

各地の先進事例の視察や要請活動等を実施

② 高速交通網整備促進十和田市議会議員連盟

高速交通網の早期整備実現に向け、国会議員等への要望活動等を実施

⑭ 議会改革特別委員会のおもな取組

市民にひらかれた透明性の高い議会運営を目指し、議員としての資質の向上と、さらなる議会改革を推進するため、「議会改革特別委員会」が設置された。

◇主な取組（令和5年6月以降）

・議員定数の削減（22人→20人）

・議案に対する賛否の公表

・議会報告会の開催

・電子表決システムの導入

・市議会災害等対応マニュアルの策定

⑮ 議会報告会（市議会・市民との意見交換会）

年度	常任委員会	テーマ	対象者	参加者数
令和7年度	総務文教	Towadaの未来について	青森県立三本木高等学校の生徒	17
	観光建設	十和田市の農業について	JA十和田おいらせ青年部	11
	民生福祉	十和田市の障がい児支援について	障がい児支援の取組をしている事業所	16
令和6年度	総務文教	選挙について	市内中学校・高等学校の生徒会執行部役員	4
	観光建設	まちづくり活性化について	十和田商工会議所青年部	22
	民生福祉	十和田市の今後の子育てについて	こどもの支援に関する取組をしている市民	17
令和5年度	－	広く市民の意見を聴取するため、テーマ設定なし	十和田市民	50
	－			
	－			

⑯ 主権者教育「とわだ子ども議会」

十和田市内の小学6年生、中学生（令和5年度から募集）を対象に、議会の模擬体験・議会や行政の仕組みの学習・質問の考案を通して自分たちの住んでいる十和田市について考えることにより、郷土を愛する心情を育むことを目的に実施。

M E M O